

保護者の皆様へ

# 知って欲しいな発達障害...

Vol.2

～きづいて!ほくのことわたしのこと～



小野市特別支援教育コーディネーターネットワーク会議  
小野市教育委員会



# ライフステージに応じた気づきと適切な支援

## 乳幼児期

## 学齢前期

## 学齢後期

## 適切な支援

### 行動面

- 抱っこを極端にいやがる。
- ほんの少しの時間もじっとしてられない。
- 一つのおもちゃで延々と遊んでいることがある。
- よく友だちのおもちゃをとってしまったり、乱暴な行動にでてしまうことがある。
- 何かにひどくこだわりとても困っている。

- 順番が待てないなど、ルールがわからない。
- 手先が不器用で、はさみの使用やボタンかけが苦手である。
- 集団行動が苦手で、一人で動き回ってしまう。
- 常に体を動かして、落ち着きがない。
- 質問が終わらないうちに、答えてしまう。

- 会話が通じずかみ合わない。
- 話が一方的であることが多い。
- 急に予定が変更になるとパニックを起こす。
- 気が散りやすく集中力が続かない。
- 人の気持ち、周囲の状況を感じ取ることが苦手。
- 衝動的な言動が多く、トラブルを繰り返す。

### 認知面

- なかなか言葉を話すようにならない。
- 大人と目を合わせないことが多い。
- コミュニケーションがなかなかとれない。
- 赤ちゃんの泣き声などに敏感で、耳をふさいで激しくいやがる。

- ノートのマスの大きさに合わせて書くのが苦手。
- ひらがな・カタカナが読めない。
- 筆算の桁がずれやすい。
- 鏡文字や反転文字を書いたり、漢字が覚えにくかったり、絵や図を苦手とする。
- 基本的な数・量の理解ができない。

- 計算式はできるけど文章題ができない。
- 教科書を読んでも、内容が理解できない。
- 整理整頓が苦手で忘れ物が多い。
- 音読で同じ行を読んだり飛ばしたりする。
- 質問に対して内容のずれた答え方をする。
- 1対1で話すとうわかるが集団では理解が悪い。

### 生活リズム

- 夜中に何度も目を覚ます。
- 目を覚ますと60分以上起きている。
- 総睡眠時間が9時間以下。
- よく泣いていて不機嫌な日が多い。
- 睡眠と覚醒の生活時間がバラバラである。
- 入眠時刻が24時以降になっている。

- 24時以降に眠る。
- 8時以降に起きてくる。
- 総睡眠時間が6時間に満たない。
- 総睡眠時間が10時間を超える。
- 食事(朝・昼・夕)の時刻が不規則。
- 朝食を食べない日がある。

- 遅刻が増える。 ○すくカッとなる。
- 午前中ボーッとしていて集中できない。
- 体重・身長伸びに変化が見られる。
- 頭痛、腹痛などの痛みと保健室訪問の増加。
- 授業中に居眠りをする。 ○月曜日に休む。
- 帰宅と同時に眠ってしまう。 ○微熱がある。

- ◎一日の予定を毎朝子どもに説明し、もし変更があればできるだけ早く知らせる。
- ◎教室でのルール、スケジュールなどは目で見て確認できるようにする。
- ◎不適切な言動については、具体的にアドバイスをする。
- ◎困ったときには誰かに聞く習慣をつけさせる。

- ◎言葉だけでなく、図や絵カード、写真など、視覚的な手がかりを提示する。
- ◎学習活動の見通しを持たせ、集中力を高める工夫をする。
- ◎短く簡単な言葉で、具体的な指示をする。
- ◎小さなことでも認め、できたことは具体的にほめ、成就感を味わわせる。

- ◎その日のうちに眠る。
- ◎毎日6時間以上は眠る。
- ◎朝7時頃に起きられるように入眠時刻を考える。
- ◎食事の時刻を一定にする。
- ◎家族全員で早寝を心がける。

(生活リズム…引用 こどもたちの疲労と生活リズム 兵庫県立リハビリテーションセンター中央病院子どもの睡眠と発達医療センター 2009.3)

### 気づきから始まる理解と支援

発達障害のある児童生徒はどの学級にも在籍すると考えられます。適切な指導と必要な支援によって望ましい環境を整えれば、良い方向に向かいますが、不適切な対応や環境によって二次障害に及ぶ場合があります。

何よりも私たちにとって「困った子」ではなく、本人が「困っている子」(支援を求めている子)であることを周囲が理解することが大切です。

### 相談機関

小野市立保健センター 発達相談 63-3977

子育て支援課 家庭児童相談室 63-1645

社会福祉課 障害福祉係 63-1011

小野市民病院 小児科 発達外来 63-2020

小野市障害者地域生活・相談支援センター 個別療育 63-1100 (内402)

ひょうご発達障害者支援センター クローバー 加西ランチ (0790)48-4561

兵庫県中央子ども家庭センター (078)923-9966

兵庫県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション中央病院 子どもの睡眠と発達医療センター (078)927-2727

小野特別支援学校 小野市教育相談 63-2571 (毎月第2金曜日)

各小・中学校 教育相談・学校見学 特別支援教育コーディネーター スクールカウンセラー

兵庫県立特別支援教育センター ひょうご学習障害相談室 (078)222-3604

0歳～

6歳～

10歳～



# 小野市特別支援教育サポート体制

## 小中連携

小野市全体で支援します！

特別支援教育コーディネーターネットワーク会議

各学校における取組状況等の情報交換

具体的な支援方法に関する研修

特別支援教育研修会の実施

小中連携担当者会

- ・各中学校区での課題に応じた対策の検討
- ・小中の情報交換
- ・小中合同研修会の開催

就学指導委員会

- ・幼児、児童、生徒の就学に関する指導（学校・医療・福祉関係者で組織）
- ・小中合同研修会の開催

小野  
特別支援学校

センター的機能

小野市教育相談（毎月第2金曜）

児童・生徒  
保護者



通級指導教室  
小野東小学校

すべての学級、すべての教員による支援

小・中学校で支援します！

特別支援教育校内委員会

支援が必要な児童生徒の実態把握

具体的な支援内容や方法の検討

個別の指導計画の作成

特別支援教育  
コーディネーター

- ・校内の連絡調整
- ・校内支援体制の整備
- ・関係機関との連携
- ・担任への支援
- ・保護者との相談窓口
- ・研修会の実施

スクールアシスタント・介助員

行動面での不安定さや特別な支援が必要な児童への教育的支援

教育相談（随時）

スクールカウンセラー  
特別支援教育コーディネーター

連携

連携

学校生活指導教員の配置

連携

各学校はさまざまな関係機関とネットワークを作って、子どもたちをサポートします！

教育（市）

小学校中学校  
特別支援学校

教育（県）

県立特別支援  
教育センター

教育（国）

兵庫教育大学  
教育相談

福祉

小野市個別療育  
小野市立保健センター

医療

小野市民病院  
発達外来

地域

ひょうご発達障害者  
支援センター

## 発達障害とは？

通常学級に在籍する子どもの中に、学習に困難のある子どもたち、行動の自己コントロールが難しい子どもたち、対人関係や社会的関係に問題を持ちやすい子どもたち等、自らの力だけでは、解決が難しい様々な悩みや課題を持つ子どもたちがいます。発達障害は見た目にはわかりづらく、行動からも理解しにくい障害です。早期に見出し、適切な支援を行うことが子どもの成長のために重要です。

（お問い合わせ先）

小野市教育委員会 学校教育課  
〒675-1380  
小野市王子町806-1  
TEL 0794-63-2409  
FAX 0794-63-1842



## LD・ADHD・高機能自閉症とは

LD（学習障害）

知的発達に遅れはありませんが、聞く・話す・読む・書く、計算するなどの能力のうち、特定の分野に極端な苦手な側面が見受けられます。

ADHD（注意欠陥多動性障害）

注意力や衝動性、多動性などが年齢や発達に不釣り合いで、社会的な活動や学業に支障をきたすことがあります。

高機能自閉症

相手の気持ちを察することや周りの状況に合わせてたりする行動が苦手であったり、特定のものにこだわる傾向が見られます。